

事業所防災リーダー通信 vol.10

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。

事業所防災リーダーへのご登録、ありがとうございました！
東京都防災リーダー事務局からのお知らせです。
本メールは、事業所防災リーダーとして登録された際のメールアドレスにお送りしています。

<< 事業所防災リーダー必携⑩ >>

◆ 消防訓練のポイントその3：避難経路を確認する

自部署の避難経路を把握していますか？

避難が必要な場面を想像してみましょう。

火災、建物倒壊、土砂崩れや津波等のように、1分1秒でも早く避難が必要な場面もあれば、電気や上下水道などライフラインの途絶、医療資源の枯渇、河川氾濫等での水害のように、比較的時間に猶予を持って避難が可能な場合もあります。

避難するには、何が問題となって避難をするのかを確認したうえで、どこを通過して、どこまで避難するのかを素早く判断すること大切です。

いざ、避難しようとした時に、従業員全員が共通認識を持ったうえで、避難経路を進んでいけるように、事前の確認が大切になります。一斉に避難経路を歩く訓練が難しければ、次のように1人～少人数でできる訓練から始めてみましょう。

- フロアマップ等を用意しましょう
- 避難誘導灯などを目印に、避難経路を歩いてみて、マップに書き込みましょう
- 歩いた時に気になること（避難経路に物が置いてある、防火扉の開け方がわからない）なども書き込みましょう
- 気になることについては、事業所内で集めて共有し、解決するようにしましょう

